

# 2023年夏山登山セミナー修了山行

～登山の基礎を学んで、南八ヶ岳を縦走する～

## 赤岳・硫黄岳(2899.4m・2741.9m)

2023.08.04(金)-06(日)

<参加メンバー> 10人(男性6人、女性4人) <天候>3日とも晴天

### <コースタイム>

#### 1日目: 8/4(金)

美濃戸口登山口 12:50→

美濃戸山荘 14:00→堰堤広場 15:00→

赤岳鉱泉 16:25着

#### 2日目: 8/5(土)

赤岳鉱泉 5:35→行者小屋 6:12~20→

赤岳 7:50~8:17→赤岳頂上山荘 8:40→

地蔵ノ頭 9:05→横岳(三叉峰) 10:10~20

→硫黄岳山荘 11:20~45→硫黄岳 12:15~13:00

→赤岳鉱泉 14:30着

#### 3日目: 8/6(日)

赤岳鉱泉 6:05→堰堤広場 7:10

美濃戸山荘 10:30→美濃戸口登山口 8:45

八ヶ岳山荘前で反省会 10:20発バスに乗車

### <山行の概要>

2023年夏山登山セミナー総まとめ、

2日間の座学と3日間の実技の成果を出す山行となった。

受講生3名(一般2名、会員1名)スタッフ7名の参加で実施した。

今回は小屋泊まり3名とテント泊7名となった。

#### 1日目: 8/4(金)

赤岳鉱泉名物のステーキとテント組は焼肉で明日に備えてスタミナを養った。

#### 2日目: 8/5(土)

赤岳から横岳、硫黄岳へと縦走し、赤岳鉱泉まで周回する。

1日の行程が長く体力に加え、鎖場や傾斜のきつい岩場登りの技術も必要なコースで気が抜けない。

高山植物にほっとさせられる。硫黄岳付近のコマクサの群落は見事だった。

#### 3日目: 8/6(日)

八ヶ岳山荘前で反省会をする。貴重な意見が出された。次回に活かせるようにしたい。今回岩場があるため二つの班に分けて歩いたことは良かった。

(岩場の通過に時間がかかるため)



1. 赤岳鉱泉名物のステーキ (8/4)



2. テント場でも今日の夕食はお肉でした



3. 早朝登山開始(8/5)



4. 行者小屋(8/5)



5. 行者小屋から見た赤岳



6. 岩と鎖



7. 鉄梯子が続く



8. 岩と鎖



9. 雲がかかった富士山



10. 雲海の向こうに北アルプス



11. 赤岳山頂



12. 赤岳頂上山荘



13. 赤岳下山



14. 横岳に向う



15. 後ろを振りかえって見る



16. アップダウンを繰り返す



17. 横岳山頂



18. 硫黄岳に向かう



19. 硫黄岳山頂



20. 硫黄岳の爆裂火口



21. 硫黄岳山頂から見た赤岳



22. この稜線を歩いてきました



23.



24.



25. 赤岳鉱泉に無事着きました



26. 横岳・大同心のアーベントグリューエン (夕焼け)



27. テント場の景色



28. お疲れさまでした



29. 三日目テント撤収(8/6)



30. 美濃戸口バス停へ(8/6)



31. オンタデ



32. コマクサ



33. ミヤマダイコンソウ



34. タカネツメクサ



35. ムカゴトラノオ



36. イワギキョウ



37.ムカゴトラノオ



38.タカネニガナ



39. ヤマハハコ



40.イブキジャコウソウ



41.タカネナデシコ



42.ミネウスユキソウ



43.ミヤマダイコンソウ



44. イワオウギ



45. ハクサンフウロ